

「地域における大学の振興及び若者の雇用機会の創出による若者の修学及び就業の促進に関する法律」の施行状況の検討等に係る有識者会議(第2回)

全国知事会 文教・スポーツ常任委員会委員長

愛知県知事 大村 秀章

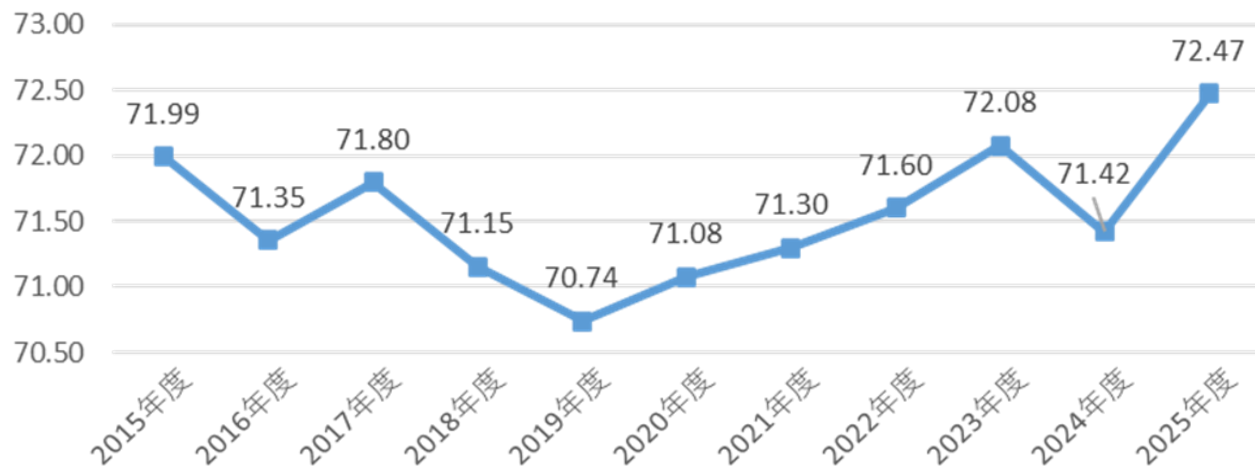
令和8年6月10日

# 1. 愛知県の大学進学状況

- 愛知県の自県進学率は、概ね70%台前半で推移しており、法施行の前後ともに全国1位である。
- 県外から愛知県内の大学へ進学する者の割合は、10年前から変わらず、東海3県（岐阜・三重・静岡）が一番多く、約65%を占めている。
- また、愛知県から県外大学への進学者割合は、関西方面・関東方面への進学者がそれぞれ30%弱を占めている。東京を含む関東方面へは、約3,000人の若者が継続して流出している。

## 愛知県の自県進学率の推移 (%)

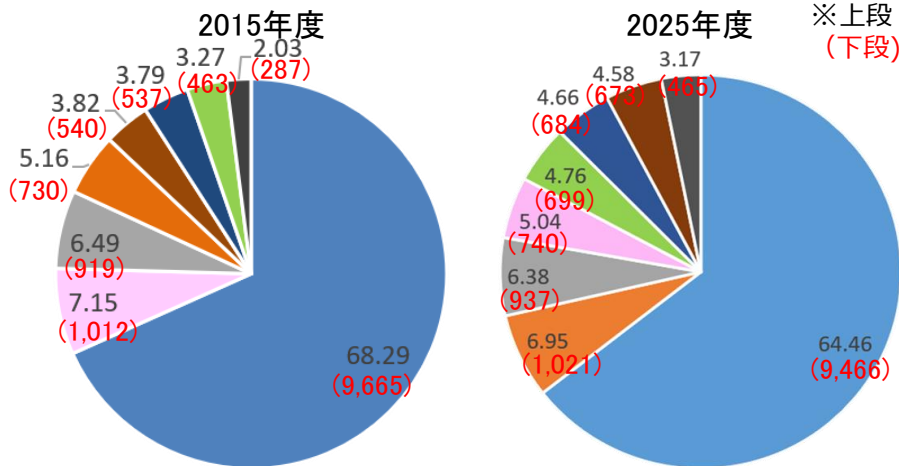
※各年度「学校基本調査(5月1日現在)」より



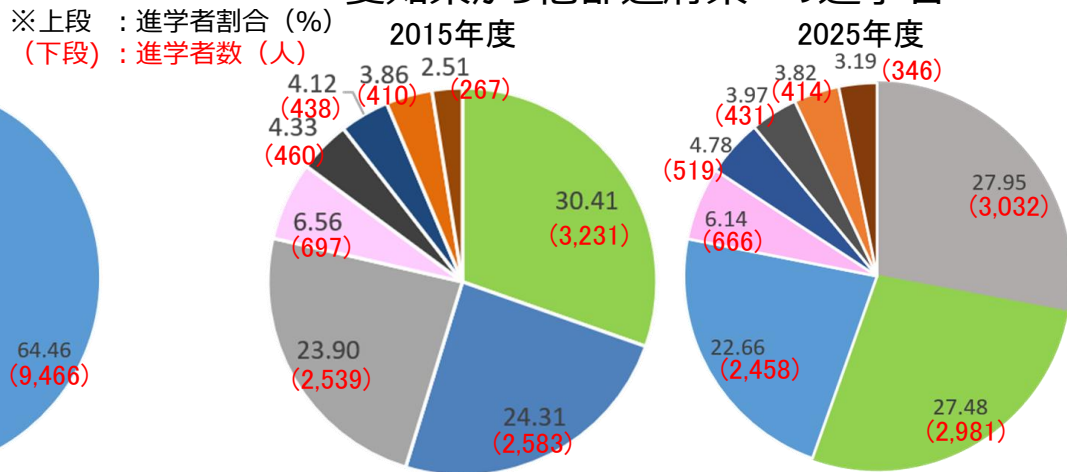
### (円グラフ凡例)

- 北海道・東北
- 関東
- 甲信越
- 北陸3県
- 東海3県
- 関西
- 中国・四国
- 九州・沖縄

## 他都道府県から愛知県への進学者

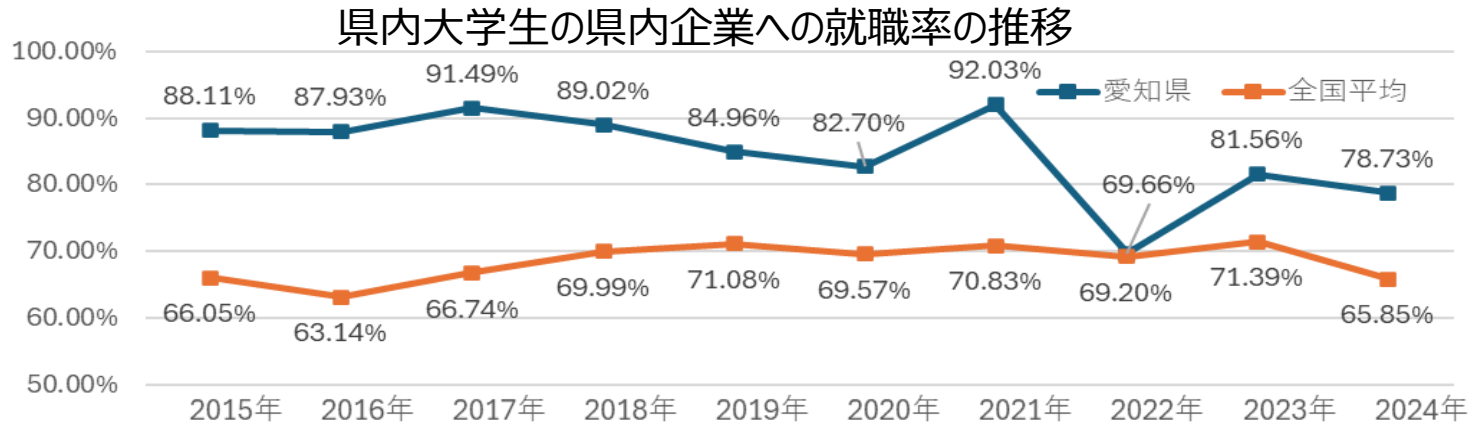


## 愛知県から他都道府県への進学者



## 2. 県内大学生の就職動向等

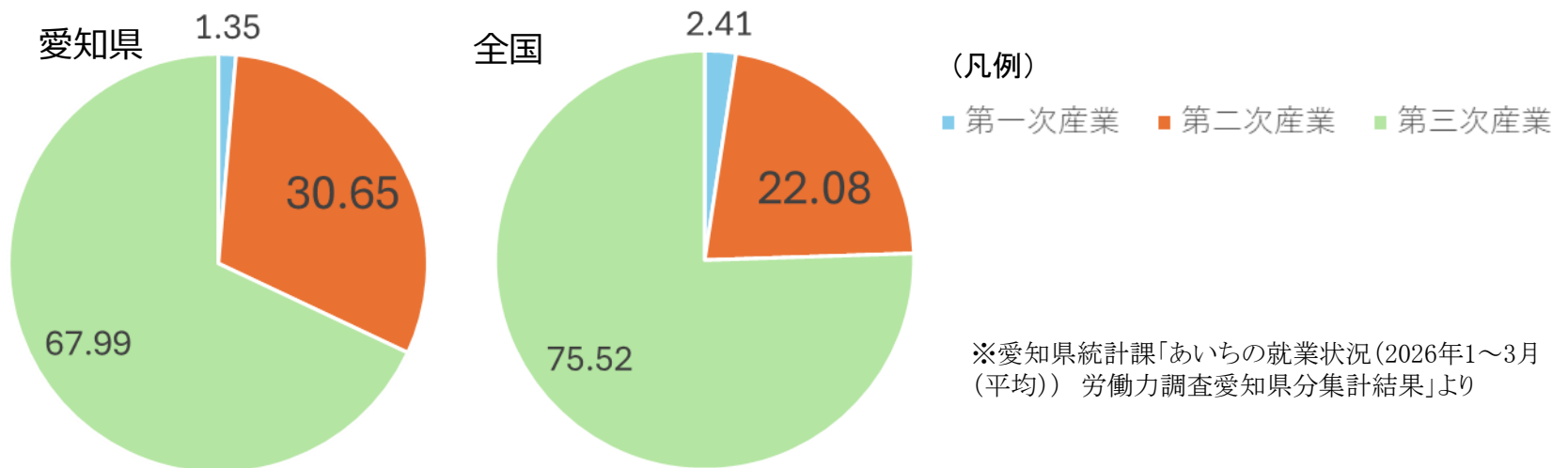
- 本県では、輸送用機器・自動車関連を始めとした雇用創出効果の高い、製造業が基幹産業となっており、県内大学生の県内企業への就職率は、概ね80%～90%の範囲で推移。
- 県内の就業者比率で見ると、県内就業者数の30%超が第二次産業に従事しており、全国平均を約9%上回っている。本県では、「現場人材」を含む理系人材へのニーズが高い。



※RESAS(新卒者就職・進学分析)により作成

※県内大学生の県内企業への就職率 = (愛知県の企業等に就職する人数) ÷ (愛知県に立地する大学等を卒業し就職した人数)

### 就業者比率から見る産業構造 (%)

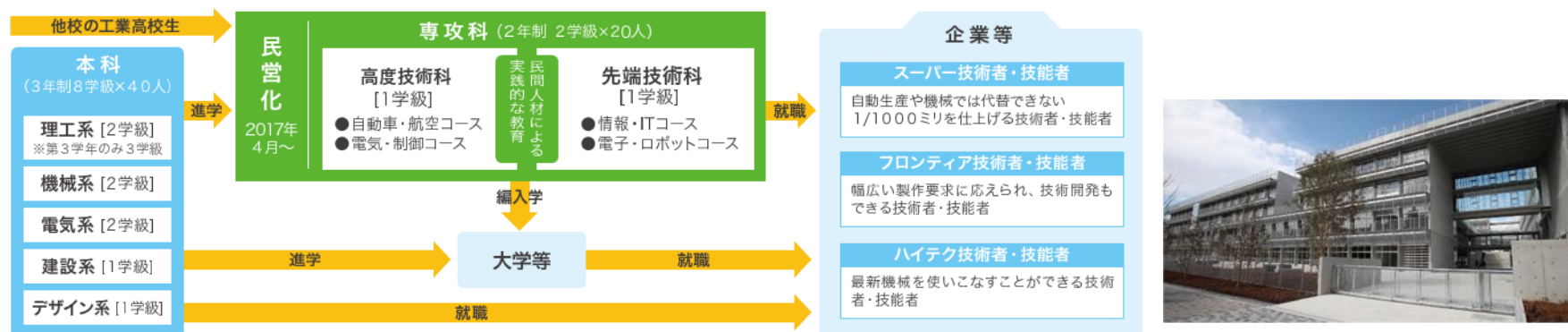


※愛知県統計課「あいちの就業状況(2026年1~3月(平均)) 労働力調査愛知県分集計結果」より

### 3. 専門人材確保に向けた愛知県の取組

- 旺盛な理系人材へのニーズを踏まえつつ、産業界から真に求められる人材育成を可能とするため、本県では国家戦略特区制度を活用し、2017年から、愛知総合工科高等学校の専攻科(2016年設置)の公設民営化を実施。
- 生産年齢人口の減少、DXやAIの急速な進展など、将来の社会・産業構造変化を見据え、即戦力となる「高度なものづくり人材」の育成を図るため、県立の高等専門学校の設置を準備中。

#### <愛知総合工科高等学校のイメージ>



#### <愛知県立高等専門学校の設置>

- ・ 愛知総合工科高等学校と併設して運営する。
- ・ 教室や実習に必要な施設は、愛知総合工科高等学校の既存施設を使用し、校舎などの建設は最小限とする。
- ・ 開校時期 未定（文部科学省の認可が必要なため、最短で2029年4月開校）